

自己評価結果等の公表にかかる届出書

2021年 3月 5日

大阪市長 様

届出者	主たる事務所の所在地	大阪市城東区嶋野東3-2-26
	名称	社会福祉法人 そうそうの杜
	代表者の職・氏名	理事長 荒川 輝男



1 事業所情報

事業所番号	2754420020	
事業所名	伝	
所在地	大阪市城東区嶋野東3-2-26	
事業の種類	<input type="radio"/>	児童発達支援
	<input type="radio"/>	放課後等デイサービス

※「事業の種類」は、実施するサービスに○印を入れてください。多機能型事業所の場合は、両方に○印を入れてください。

2 公表状況

公表日	2021年 3月 5日		
公表方法	《児童発達支援》		
	<input checked="" type="radio"/>	ホームページ掲載	(URL http://sou-sou.com/den.html)
		会報等に掲載し配付	(会報等の名称)
		その他	(具体的な方法)
	《放課後等デイサービス》		
	<input checked="" type="radio"/>	ホームページ掲載	(URL http://sou-sou.com/den.html)
		会報等に掲載し配付	(会報等の名称)
		その他	(具体的な方法)
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者結果を添付してください。		

※「公表方法」は、該当するものに○印(複数選択可)を入れ、()内に詳細を記入してください。

この届出書に関する担当者名	浅田 哲
連絡先電話番号	06-6955-8070

※平成30年4月施行の「障害福祉サービス等情報公表制度」とは別のものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表2021年3月5日

事業所名 伝

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ワンフロアのためフロアを区切って使用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		障害特性に合わせて写真でのスケジュールの提示や、タイムタイマーで伝えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的な換気と消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日話し合いの場を持ち、現状、課題点、目標などを確認している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意見を参考にして、具体的な改善を行い、保護者に報告及び広く公表している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		近々、外部評価を行う予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月開催。外部講師を招いたり、内部研修を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自のツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			実際には、保育所や学校に訪問したり、家庭に訪問したりする支援を行っている児童もいるが、全員ではない。公表が不十分のため保護者への報告を行う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		外部講師を招いている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		送迎確認、役割分担、児童のケースについて毎日確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		各児童の課題の発見や、保護者への支援なども話合っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		重症心身障害児について小学校と情報の共有を行って支援をしている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼稚園とは相互に見学に行き話し合いの場を持って、支援を共有することができた。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学前の担当者会議に出席し、情報共有及び今後の方針を決めた。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルスの影響で今年度は控えた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		家庭と事業所での支援の共有を保護者と試行錯誤して行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者に事業所に来てもらい、支援の現場を見てもらい共有している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者からの相談には助言をしているが、積極的にできていないためこちらからの聞き取りを増やす。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度はコロナウィルスの影響でイベントができなかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳のやりとりの他、メールや電話などですぐに対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			今年度はコロナウィルスの影響であまり交流はできず。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎月開催。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月開催。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		必要な児童は発作時の薬を預かっている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者に医師の指示書を頂くようにする。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

事業所名 伝 保護者等数(児童数) 回収数 4(6)/4(6) 割合 100

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3		1			保護者との認識のずれを埋めるよう話す機会を増やす。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2		1	1	抽象的な質問、言葉が難しくわかりにくいです。具体的にやさしい言葉で表現してほしいです。	「本人支援」「家族支援」「地域支援」に具体的でやさしい言葉で周知していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2			2		保護者との認識のずれを埋めるよう話す機会を増やす。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		2	1	通っている保育所に対して交流を深める支援をしていますが。しかし地域の障がいのない子どもが障がいのある子どもと交流させたいという保育所等が少ないので実現しにくいと思います。	障害のない小学生との関わりはあるが、それを周知できていないため。
適切	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3		1			ガイドラインの説明を十分に行う。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている		1	2	1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	1				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
な 支 援 の 提 供	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	2	1		開催されれば参加したいですが、通所施設の父母会は気がつかいすぎるとい話も聞きます。外部の保護者会（父母の情報交換の場）があれば教えて頂きたいです。	出来る限りの情報提供をすると共に、保護者同士の情報交換の場の提供も検討する。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4					
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	4					
非 常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4					
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	4					
満 足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	4					
	23 事業所の支援に満足している	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:2021年 3月 5日

事業所名 伝

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日話し合いの場を持ち、現状、課題点、目標などを確認している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意見を参考に、具体的な改善を行い、保護者に報告及び広く公表する。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			3月中に外部評価を行う予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		療育場面や障害理解のため研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自のツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		外部講師を招いている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		季節に沿った工作を実施。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		送迎確認、役割分担、児童のケースについて毎日確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		各児童の課題の発見や、保護者への支援なども話合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		電話や連絡帳でのやり取りに加え、夜間はメールを使って連絡調整している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者を通して情報交換をしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		発達障がい者支援センターの研修を受けた。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			今年度はコロナウィルスの影響でほとんどなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に保護者と余裕を持って話をする機会を設けている。また電話による相談も随時行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		低学年の児童の保護者に対して実施。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話は随時受け付けており、希望があれば来所してもらって話す機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今年度はコロナウィルスの影響でイベントができなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		法人内の苦情受付部門にて対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人内で定期的に機関紙を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		毎月実施	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者に医師の指示書を頂くようにする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 2021年 3月 5日

事業所名 伝 保護者等数(児童数) 回収数 11/13 割合 84%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	11				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11					
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8	1		2		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9			1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	3	特に希望しません。	今年度はコロナウィルスの影響でなかった。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2	2	1		今年度はコロナウィルスの影響で開催できず。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2				保護者にご意見を聞き取り改善する。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			1		保護者にご意見を聞き取り改善する。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		1		周知が不十分な保護者に再度周知する。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	10	1				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1				周知が不十分な保護者に再度周知する。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1		2		周知が不十分な保護者に再度周知する。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11					
	18	事業所の支援に満足しているか	10	1				保護者にご意見を聞き取り改善する。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。